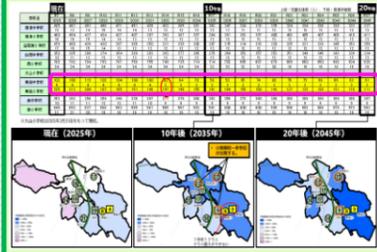


# 市の現状と将来ビジョンについて

## 現在～10・20年後の変化、課題の明確化

### 将来推計



### 多面的な実態把握

#### ①各学校施設の沿革・立地等の現状と課題

- 各学校の沿革
- 長寿命化計画の把握
- 劣化状況、工事履歴
- 今後の維持・更新工

#### ③通学路・通学区域

- 小学校と中学校区
- 通学エリア、通学路の課題
- 児童生徒の多い地区等

#### ④学校を取り巻く現状と課題

- 上位計画・関連計画
- 人口・地域・財政
- 学校に係る総コスト

#### ⑥学校施設・運営面での教育課題

- 特別支援教育
- 不登校対応
- プール・給食への対応 等

#### アンケート調査

- 学校全般について
- 学級数等について
- 通学時間・通学区域について
- 学校施設等について 等

児童生徒数はピーク時から約36%減少し、今後20年でさらに約20%減少する見込み。

菁莪小・中学校では早期に学校規模の縮小が進む一方、他校では学校規模は当面維持される見込み。  
⇒菁莪小中以外は当面維持

現状の最長通学距離は小学校2.7km、中学校2.9kmで、市の基準内。

不登校は中学生に多く、中学校進学後に増加する傾向。

特別支援学級の児童生徒数は、この10年で約3倍に増加、今後も増加する見込み(西小は増築対応)。  
通級学級は一部の学校に限られている。

コミュニティ・スクールは、市内の全校において設置。

部活動の地域移行は、実証導入を経て全校で実施

地域は、市街化調整区域の農地が広がる生活圏と、白岡駅・新白岡駅周辺で住宅開発が進んだ生活圏に二分化している。

公共施設全体の延床面積に占める学校教育系施設の割合は、約60%。

篠津小・菁莪小は低強度で長寿命化に適さず、建替えが必要  
将来の学校像には現状の建物では対応しきれない

学校施設の複合化は、現時点では学童保育に限定

小学校は全校にプールがあるが、老朽化したプール2校の更新検討が必要。

小学校の給食室は、白岡東小学校を除く4校で築40年以上が経過、ウェット式。

## 第3期白岡市教育振興基本計画

### 1 家庭・地域・学校と連携して子どもたちを育てる

- ① 体験学習 (田んぼ 動画配信)
- ② 放課後や週末などの子どもたちの居場所 (放課後子ども教室の充実・拡充)

### 2 (1) 資質・能力の育成

- ① 確かな学力 (少人数指導、ICT支援員)
- ② 社会変化に対応する力 (ALT活用、情報モラル)

### (3) 教職員の資質・能力の向上

- ① 教員の資質・能力の向上
- ② 働き方改革 (公務のICT化・支援員配置)

### (4) 家庭・地域・学校が一体となった子どもの育成

- ① コミュニティ・スクールの設置・充実 学校応援団活動の推進、学校公開
- ② ふるさと意識の醸成

### (5) 教育環境の整備

- ① 教育環境の整備・充実 (通信環境・計画的な修繕)
- ② 安全安心 (危機管理、防災ボランティア) 災害

### (6) 多様なニーズに応える

- ① 特別支援教育の充実 (特別支援学級の整備、通級学級の充実、インクルーシブ教育の推進)
- ② 不登校 (教育センターの充実、教育相談)
- ③ 外国人 日本語指導の補助

## 将来ビジョン

### 一人ひとりが輝く「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

- 多様な学習が展開できる適正な学校規模の確保
- 少人数指導・教科担任制の充実によるきめ細やかな支援
- チーム担任制の導入に向けての研究
- 特別支援教育や不登校支援の充実による多様な学びの保障
- ICT教育の深化に向けたデジタル技術の活用による学習支援体制の強化
- 「学び」と「育ち」の連続性を確保した小中連携の推進

### 地域とともに育む「協働と創造の学び」の推進

- 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)や地域学校協働活動の充実を図り、地域との連携基盤の強化
- 持続可能な運営体制の構築に向けた部活動の地域展開の充実
- 地域の自然・文化・産業・歴史を教材とした探究的学習の推進
- 地域住民・企業などとの連携による社会に開かれた学びの場の拡充
- 地域の特性や資源を活かし、地域に根ざした魅力ある学校づくりの推進

### 安心・安全で「快適な学校環境」の実現

- 学校施設の機能強化と魅力向上を両立した整備の推進
- 地域の実情に応じた学校施設と他の公共施設との複合化・共用化の推進
- 学校間のプールの共用化や民間プールなどの利用の検討
- 学校給食のあり方の検討
- 学校を地域の避難所として活用するための防災機能の強化
- 教職員の働き方改革につながる学校づくりの推進

### 白岡市の特色を生かした教育 (図書を生かした教育)

- 学校図書館を核とした地域共生コミュニティの創出
- 学校図書館等のメディアセンター機能の強化
- 生涯学習センターを拠点とした図書を通じた住民の学習・交流の充実

## 白岡市立学校の適正規模・適正配置に関する計画策定の基本方針 (令和7年3月)

### 【適正規模】

小学校 18～24学級(1学年あたり3～4学級)  
(12～17学級:準適正規模校)  
中学校 12～18学級(1学年あたり4～6学級)  
(9～11学級:準適正規模校)

### 【適正配置】

小学校 おおむね4km以内(1時間以内)  
中学校 おおむね6km以内(1時間以内)

### 【学校統合について】

・義務教育学校を含む小中一貫校への移行等、学校再編として幅広い選択肢の中から検討を進める必要

## 実行段階

### 新たな学習の在り方

#### 【教科担任制】

・理科免許を持つ教員による専門性の高い授業を小学校4年生以上から受けられる

#### 【異学年交流】

・コラボ授業  
・9年生が企画する「縦割り遊び」等

#### 【地域との連携】

・地域とつながりを大切にした教育活動  
(例) ・学校応援団  
「安心安全応援隊」  
・地元企業の出張授業  
「お金に関すること」  
・ボランティアによる  
学校用具の修理・作成

